



「みんなのSDGs」。日本福祉大学の学生とのインタビュー内容（第3弾）を報告します！
身近な取り組みを知って、みんなでSDGsに取り組んでいきましょう♪

夫馬歯科クリニック

「小さなSDGsを見つけよう！」

インタビュー： 日本福祉大学 三矢典明さん

患者の健康を守ることを第一にしながら、女性スタッフが働きやすい環境づくりとして、育児のための勤務時間の短縮などに取り組んでいます。

歯科医院では、歯型をとり、診療を行う場合がありますが、夫馬歯科クリニックでは、1年ほど前に光学印象を導入し、専用のデジタル機器により、口の中の情報を画像化して3Dデータを作成し、より正確な歯型づくりを行っています。

従来の方法に比べ、作業ミスが減り、診療時間の短縮や患者のストレス軽減に加え、石こう等の医療廃棄物の発生の抑制につながっています。

また、出来上がった歯型は、歯科技工所へ送る必要がありましたが、データのやり取りで、詰め物や入れ歯の作成が可能となったため、更なる環境負荷の軽減に寄与しています。

インタビューの最後に、「SDGsは身近な取組の積み重ねであり、小さなSDGsを見つけることが大事だ」と教えていただきました。



光学印象により歯型データを作成している様子



いわくら・みんなのサロン

「誰ひとり取り残さない」社会の実現を目指して！

インタビュー： 日本福祉大学 西森元紀さん

一般社団法人は一とプロジェクトが運営する「いわくら・みんなのサロン」では、不登校などさまざまな事情でひきこもる18歳までの子どもとその保護者を対象に、月1回のペースでサロンを実施しています。

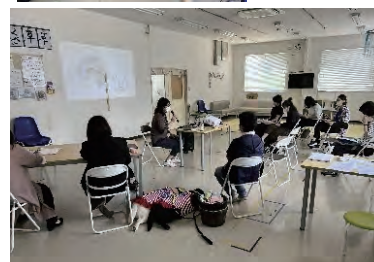
親子でのグループワークや、ドッグセラピストとセラピードッグを導入した動物介在活動などを通じて、子どもとの関わり方、褒め方、話しかけ方を学ぶことができ、保護者のストレス発散にもなります。

市内の学校等では、不登校やひきこもりが年々多くなっているそうですが、このような活動は当事者の子どもたちや保護者の不安やストレスを取り除くことができる素晴らしい活動だと感じました。

一人で解決することが難しい問題なので、このような活動を行っている団体があるというのを多くの人に知ってほしいと思います。



ドッグセラピストとセラピードッグを導入した動物介在活動



▲子どもたちとの向き合い方を学ぶ

●問合先 秘書企画課企画政策グループ (☎ 38-5805)